

い  
ず  
み  
さ  
の  
教  
育



問合先  
学校教育課

「スクールソーシャルワーカー（SSW）」

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果が、令和2年10月に文部科学省より発表されました。これによると、令和元年度全国の暴力行為発件数は、千人率で小学校が6.8件（平成30年度5.7件）、中学校が8.8件（平成30年度8.9件）で、小学校において増加傾向にあります。また、いじめ認知件数の千人率は小学校が75.8件（平成30年度66.0件）、中学校が32.8件（平成30年度29.8件）と小・中学校ともに増加、さらに、不登校も千人率は小学校が8.3人（平成30年度7.0人）、中学校が3.9.4人（平成30年度1.6.9人）と小・中学校ともに増加しています。

SSWは保護者や教職員の

相談を受け、課題解決のために活用できる社会資源に関する情報提供を行い、必要に応じて関係機関や手続きなどへ同行することも可能です。そのため、日常的に児童生徒の授業観察や行動観察を行ったり、関係機関から相談活動において必要な情報を収集したりもしています。

また、ケース会議において、課題の原因や背景を探り、福祉の視点に立ったアセスメント（見立て）を行い、課題を整理することで問題解決に向けたプランニング（手立て）をサポートしています。さらに、教職員向けに校内研修を行い、福祉の視点から教職員が児童生徒を理解するためのスキル向上にも一役を担っています。

本市では、SSWについて、平成29年度まで大阪府教育庁からの派遣に頼っていましたが、平成30年度から本市でもSSWを委嘱し、令和元年度からは市内各中学校区に1人ずつ配置しています。SSWへの相談は、各学校または学校教育課へ問い合わせてください。

学校園紹介



アップタイムで体力アップ！  
～佐野台小学校～

佐野台小学校は、「子どもの体力向上推進校」として体験型の学びを通じ、「生きる力を育む体力作り」を日々研究しています。2時間目と3時間目の間には、15分間の「アップタイム」という運動の時間があり、楽しみながら様々な運動を経験することで、体力アップを図っています。

【ボール遊び】ドッチボールやドッジビーなどの競技で、仲間と協力することや動きを工夫する楽しさを実感しながら、運動能力を高めています。



【縄跳び運動】音楽に合わせて短縄跳びをしたり、後ろ跳びやあや跳びなど色々な技に挑戦したりしています。大縄跳びではクラス全員が参加することで、友だちと励ましあって、体力向上に励んでいます。

【サーキットトレーニング】体力テストの結果から課題を見つけ、外部専門家の助言を受けながら、様々なメニューを実践しています。

【リズム体操】ラジオ体操、いずみさの体操、ジギスカン体操などに取り組み、自分の体力に応じた体の動かし方を学んでいます。



やりたいこと 思いっきり「大木たんけん」  
～大木小学校～

▶水辺の生き物を探している様子



大木小学校は、学校の近くに川が流れ、山々が近くに見える場所にあり、今年度は49人の児童が通っています。近くの川から今年は2回も沢ガニが学校へやってきました。そんな大木小学校ならではの魅力的な学習の中から今回は「大木たんけん」を紹介します。

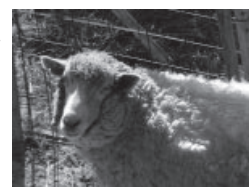
「大木たんけん」は、たてわり班（1～6年生の児童で構成された班）で行く場所とやりたいことを決め、思いっきり探究する学習です。今年度は火走神社や円満寺、ランプの家、だんじり小屋などがたんけんコースに選ばれました。講師は子どもたちのどんな疑問にもすぐに答えてくれる専門の先生を大学などから招きました。



▶ランプの家

このような「問題解決的な学習」（自分で課題を決めて、解決していく学習）を行うことで「毎日の教科学習がどんなことに役立つのか」「なぜ学習をするのか」などについて子どもなりに理解してもらえたらと考えています。

▶つじもいたよ



そして、その理解が大人になっても生涯にわたって学び続ける原動力になってほしいと願っています。